

市職員! 「ただ今、奮闘中」

現在、宇城市役所には636人の職員が市民の生活向上のため、業務に励んでおります。その中で、業務以外でもボランティア活動などで、市民の皆さんと交流を深め、より一層地域に溶け込もうと努力している職員をご紹介します。



野尻湖トライアスロン大会(長野県)で完走

プロフィール

みやもと しんじ
宮本 真二

1961年(昭和36年)生まれ
1984年(昭和59年)
豊野村役場採用
2007年(平成19年)10月現在
健康づくり推進課勤務

いろいろなスポーツに出合っ

私は、これまで自分の経験を生かして、大会を始めたり、クラブを立ち上げたりして、スポーツを楽しんでいます。豊野といえば、夏に「ちびっこトライアスロン大会」を開催していますが、この大会を初めて開催したのが11年前の8月でした。私は当時、体育指導委員

をやっており自分の経験を生かして、夏休みに小学生の子どもたちに、心に残る思い出を作ってもらおうと、豊野体育指導委員の皆さんと大会を始めました。「大会を開催する」と一言で言っても、体育指導委員の皆さんはトライアスロンに関わるのが初めての人たちがばかりです。そのころ、三角町でトライアスロン大会が開催されていたので研修にも行きました。また、予算も必要ですし、ボランティアスタッフも大勢必要となります。ボランティアを集めることは、選手を集めること以上に苦労することを実感しました。

今年の夏も第11回大会を開催することができました。おかげさまで県内各地はもとより九州



ちびっこトライアスロン大会

各県から参加していただきました。私は体育指導委員を離れて6年になりますが、今年も陰から支えて運営に携わっています。そのほか、毎週日曜日に小学1年から3年生を対象にジュニアサッカーを3人の有志で行っています。始めたころは、近くのクラブと試合をしても勝つことが少なく、指導することの難しさを痛感していました。



とよのジュニアサッカー

一昨年、年長の息子がサッカーを始めました。夕方、息子とサッカーをして遊んでいたら、息子の友だちが数人集まってきた。今では12〜13人の子どもたちと毎日のようにサッカーを楽しんでいます。子どもたちには、サッカーを通じてほしいと思の友だちを作ってほしいと思います。

10年後、20年後もどこかでボールを追いかけてほしい。上

を目指すものもいるかもしれない。しかし、大人になっても「サッカーが大好きだ」という気持ちを忘れずに一生続けていてほしいと思、今日も一緒にボールを蹴っています。

最近、指導というのは子どもたちが楽しいと思うこと以上に、自分が楽しくなければ面白くないと思、楽しいサッカーを心掛けて指導しています。

最後に、大会を開催することで、ボランティア集めの難しさを知り、日ごろから努めているような行事など協力するよう心掛けています。私はいろいろなスポーツで、たくさんの皆さんと知り合うことができました。これからも、機会があれば新たなスポーツに挑戦したいと思

宇城市のみなさん こんにちは



Kitao Nishida

各界で活躍中の宇城市出身の方から、ふるさとへのメッセージをいただきました。第2回目は不知火町出身の西田喜多雄さん。

【プロフィール】 1929年(昭和4年)、当時の不知火村に生まれる。中学2年終了(旧制)後、職業軍人を志して陸軍幼年学校に入学するが、2年生の時、太平洋戦争の敗戦により復員。社会に出てからは、大阪のオンキヨー(株)や宇土市本社の西田鉄工(株)東京支社で通算53年勤め、副会長、相談役を経て平成19年3月第一線から身を引き、余生を趣味や旅行に費やしゆつたりと過ごす。また、自身の半生をつづった「おかげさまで」(暮らしの手帖社)を出版、市中央図書館に寄付。現在は東京宇城市会会長、千葉県浦安市在住。

昨年10月に西村先生のあとを引き継いで、東京宇城市会の会長を仰せつかったから早いもので1年がたちました。若いころは時間のたつのがゆつくりで、年齢を重ねるにしたがって早くなると言われます。世の中が政治、経済、軍事さらには宗教や教育など諸問題で混乱を極める情勢の中で、歳月の過ぎ去るのが一層早く感じられるのかもしれない。

私は会社勤めの終わりの方で少し暇な立場になり、個人的な付き合いの時間が多く取れるようになったところから、多くの人がそうであるように、いろいろな肩書きで「世話役」を依頼されるが多くなってきましたが、自分の時間を奪われるのが嫌でみんな辞退してしまいました。しかし、それでよいのかな?と疑問も持っていました。

武士道を説いた書物「葉隠(はがくれ)」の一節に武士たるものがぜひ努めねばならないことの一つとして「大慈悲を起こし、人のためになるべきこと」というのがあります。その言葉が妙に引っ掛

かつてくるようになり、同期生会や趣味の仲間などの関係で少しずつ役目を引き受けるようになっていました。

そういう心理状態の中で昨年の総会で会長を引き受けることになったものです。何もできませんが年々ですので、恩返しのためで名目だけですが、しばしの間努めさせていただいているところです。

昔から「ふるさととは遠くにありて思うものなり」と言われますが、IT産業が高度に発達した現在では(海外に住んでいると違うかもしれませんが)交通や通信の事情もすっかり変わって、時間、空間が狭くなってしまいい「遠くにある」という感じが大変薄くなっています。

現在東京に住んでいても、ふるさとと同じくする者同士「近くにある」宇城市に対しての共通の思いを「絆(きずな)」として集まれることは本当にありがたいことだと思います。今や10000人を超す会員を擁し、毎回2000人以上の出席者で年次総会開かれる状

▼東京宇城市会総会

期日 11月10日(土)

場所 東海大学校友会館
(霞ヶ関ビル33階)

問い合わせ先
東京宇城市会事務局 吉村
047-3551-2059

況は得がたいことだと考えます。次の第3回総会は11月に予定され、阿曾田市長はじめ宇城市からも多数ご出席いただけるのとこと、現在吉村事務局長ほか、役員一丸となって、準備が進められています。私も今総会が盛大に開催されることを楽しみにしております。

余談ですが、私は現在、江戸川をはさんで東京に隣接する浦安市のデイズニールランド&シーのすぐ近くに住んでいます。市内には大規模な温泉施設「湯めぐり万華鏡」も建設されて、とても便利で面白いところです。お近くにお越しの際、ついにお立ち寄りいただけますならばうれしかぎりです。

ふるさとには遠くへありて思うものなり

西田喜多雄